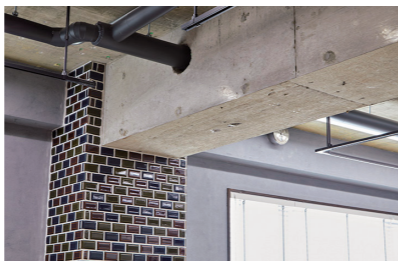




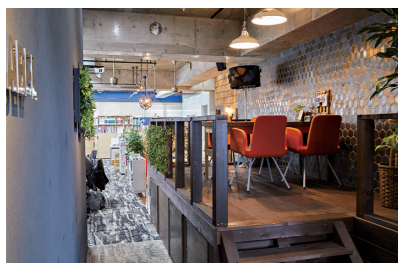
こちらはオフィスのファサードデザイン。「C4」は、コミュニケーション、チャレンジ、チェンジ、コンフォートの頭文字を取っている



ミッドセンチュリーなテイストが漂うプライウッドのランプとインダストリアルなアプローチの鉄製ランプをうまく組み合わせている



うまく鉄筋コンクリートの梁を活かした一角。クリーンな印象のタイル張りとパイプをむき出しにしたインダストリアルなテイストがマッチ



あえて通路を狭くすることで、奥のスペースに開放感が得られるように配慮。いろんな材料を使っているので、しっかりとチェックしたい



シーフォーデザインレーベルを牽引するデザイナーの後藤さん(右)と取締役の高橋さん(左)。数多くの物件を手掛けてきた技術と類まれなセンスを持つ



ミッドセンチュリーな雰囲気を醸し出している大きな要素のひとつが木を組み合わせた立体的な壁。シダーシングルという壁材を使用した

シーフォーデザインレーベルが考えるミッドセンチュリーモダンを体現したというオフィス。「見せるオフィス」をテーマに、あえて壁部分や床を統一せず、様々な素材や材質を見て、触って楽しめる空間になっている。デザイン、バランス、機能を兼ね備えており、様々なインスピレーションを得られる空間になっている



## C4 DESIGN LABEL

千葉の船橋に拠点を置く住宅デザインのスペシャリストである「シーフォーデザインレーベル」が多方面から注目を集めている。手掛けた実例を見ながら、その魅力に迫ってきたい。

Text/S.Sato 佐藤周平 Photo/K.Okamoto 岡本浩太郎  
問い合わせ/シーフォーデザインレーベル TEL047-460-5545 <http://c4dl.co.jp>

船橋駅近くにあるオフィスの一角。入ってすぐの一段高くなったところにミーティングスペースが設けられている。壁には名古屋モザイクによる美濃焼きのタイルが貼ってあり、シックな雰囲気で打ち合わせができる

コミュニケーション、チャレンジ、チェンジ、コンフォートの頭文字を取ったシーフォーデザインレーベルは、今注目を集めているクリエーター集団である。もともとはO.A.F. ロア施工で実績を積み、その経験を活かした技術力と斬新なデザイン力で、多方面から賞賛を受けている。

オフィスから、新築戸建、中古リノベーション、リフォームまで手掛け、既存の形式や価値観にとられない提案を行っている。そうは言っても一方的に自社のデザインを押しつけるのではなく、施工主の意見を最大限に活かし、そこに自分たちのアイデアをプラスしてくれるから心強い。またリノベーションに関しては、もともとのベースを活かしながらも、モダンに仕上がることを得意としてお

り、予算に合わせて豊富な提案を行ってくれる。

得意とするブルックリンスタイルやミッドセンチュリーを軸に、和のテイストを強めることもあれば、時には古材で西海岸的な雰囲気を演出、そして無骨なインダストリアルを組み合わせて、その引き出しの多さに驚く。

船橋にあるオフィスでは、膝を突き合わせてミーティングができるだけでなく、様々な施工を見ることのできるのも、いろんなヒントがもらえるのだ。



DATA  
シーフォーデザインレーベル  
船橋オフィス  
TEL047-460-5545  
千葉県船橋市本町 7-12-23  
藤井ビル 3F  
10～18時  
土日曜、祝日休

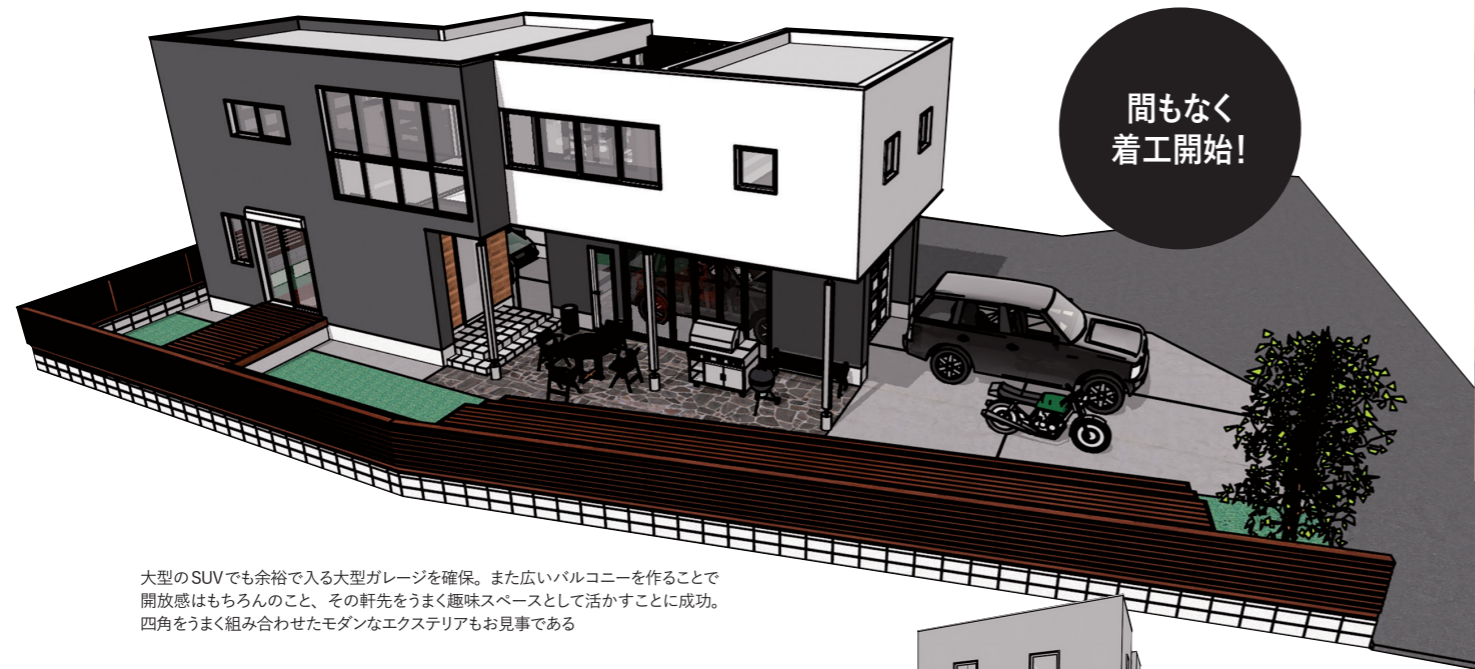
エントランスはインダストリアルな内装になっており、さらに進んだところにオフィスと、各スペースでコンセプトの違った内装になっており、住宅づくりのヒントをもらえるような空間になっている

ハイクオリティなデザインの住まいはココから生まれる。

## デザインにこだわり尽くした 新築プロジェクトが鋭意進行中!

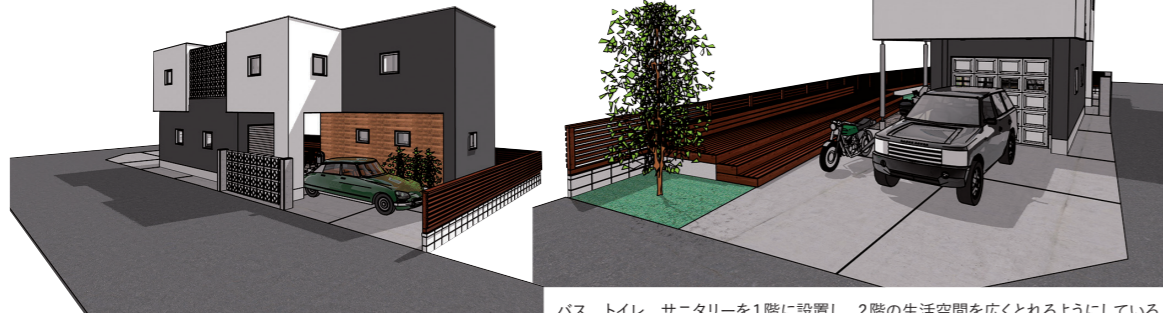
着工前なので、実物をお見せできないが、気になる新築プロジェクトがあったので、是非とも紹介したい。最大の特徴は趣味と生活スペースを見事に融合させているというところ。日本の住宅事情では、アメリカ好きが好む大型のSUVとバイクを平行して置くのは難しいが、この物件では大きなガレージを確保。また2

階に広いバルコニーがあり、軒下も広々としているので、家族と楽しくバーベキューを楽しめるスペースを実現。「シーフォーデザインレーベル」の魅力は、こういったアイデアにある。オーナーのライフスタイルを考慮して、限られたスペースを最大限に活かすための創意工夫が、他社にはない強みであることは間違いない。

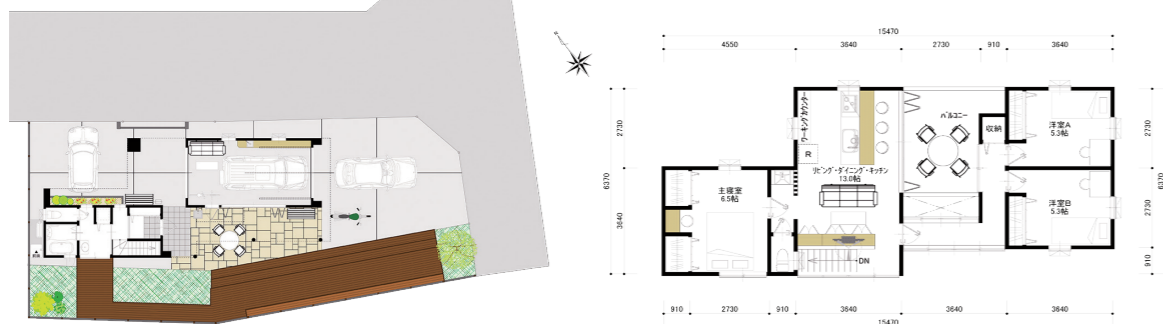


間もなく  
着工開始!

大型のSUVでも余裕で入る大型ガレージを確保。また広いバルコニーを作ることで開放感はもちろんのこと、その軒先をうまく趣味スペースとして活かすことに成功。四角をうまく組み合わせたモダンなエクステリアもお見事である



バス、トイレ、サンタリーを1階に設置し、2階の生活空間を広くとれるようにしている。ガレージは居住空間と完全に分けられており、軒下から車庫までを含む広いガレージベースとしての役割を果たしている



### RENOVATION リノベ前はどこにでもある マンションの内装。



ベースとなったのは、普通の一般的なマンション。基本的な間取りは変えていないが、キッチンを対面式に変更し、中途半端なところにあった洗濯機置き場を洗面所へ。もともと3Kに近い独立した作りであったが、壁を取り壊すことで、開放感のある2LDKに近いレイアウトに変更した。また洋室から和室にコンバージョンするなど、旧きよきテイストもうまく取り入れている



オリジナルで作った収納スペース裏には、和を感じさせる柄と色の壁紙を配することで、シンプル過ぎない印象になった

青海波と呼ばれる模様のブロックをうまく活用し、和のテイストを馴染ませた好例。ウツの窓枠とも絶妙な相性

和室から見たリビングスペース。テレビ裏の壁紙には麻柄をモチーフとしたタイルを張ることで、うまく日本の和とモダンなテイストをミックスさせた

### フツのマンションを コンセプトualにリノベーション。

百聞は一見に如かず。シーフォーデザインレーベルが手掛けた物件を見れば、そのセンスのよさをわかってもらえるはず。数多くの物件を手掛けてきたが、一際目を引くのが、こちらの中古マンションのリフォーム。高円寺にあるマンションで、もともとはなんでもないフツの物件。オーナーの「日本の粋を感じてもらいたい」というコンセプトのもと、プランニングしていった。ポイントは2つのタイルと和紙クロスで日本の川辺を表現したこと。リビングルームには麻柄のタイルを使いながらも、和と相性のいいミッドセンチュリーモダンなテイストにまとめている。またうまく奥行きを使うことで、限られたスペースながらも開放感を演出。



閉塞感のあったキッチンスペースは、リビングや併設する和室が見えるように、ナチュラルな木枠の窓に変更。これによって開放感ある空間に

こちらがメインとなるリビングスペース。日本の川辺をイメージした内装は、和を感じながらもモダンな仕上がりが